**RSGDXの実行手順**

1. データの分割

実行するMPI並列数に合わせてデータの分割を行います．データ分割用プログラム，分割前元データは以下の通りです．

データ分割用プログラム ： partition\_supermatrix.f90

分割前元データ ： supermatrix.dat

1. MPI並列数に合わせた入力データの作成

MPI並列数を，partition\_supermatrix.f90の28行目のNPROCに設定し，コンパイルします．ただし，MPI並列数は1,228,800の約数となるようにしてください．

分割前元データと同じディレクトリにデータ分割用プログラムを配置し，実行します．

1. 分割データの確認

　プログラムを実行したディレクトリ配下に，2種類の入力ファイル(dfullmat.XXXX，drkmat.XXXX　※XXXXはMPIプロセス番号)がMPI並列数個ずつ作成されます．

1. プログラムの実行
   1. プログラムの修正

　ソースプログラムm\_constant.f90の11行目，12行目のNPROC，NPEperGROUPに，実行するMPI並列数を設定しコンパイルします．

　タイムステップ数はソースファイルm\_constant.f90の13行目のNSAVMAXを修正します．

* 1. プログラムの実行

　以下のようなディレクトリ構成でプログラムを実行します．

－+－＜実行ファイル＞

　　|－input\_timer.nml

　　|－inputpara.g\_000.nml

　　+－000

　　　　｜－dfullmat.XXXX

　　　　｜－drmat.XXXX

　　　　+ －hlib\_a\_b.p\_all

実行ファイルと同じディレクトリにinput\_timer.nml，inputpara.g\_000.nmlを配置します．000というディレクトリを作成し，その下に，手順1で作成した入力データとhlib\_a\_b.p\_allを配置し，実行します．